

山口県大島防災センターだより

山口県大島防災センター 〒742-2301 山口県大島郡周防大島町大字久賀5066-5 TEL0820-79-1133
E-mail : bousai@town.suo-oshima.lg.jp

第71号
令和3年9月

台風や大雨などによる被害に気を付けましょう。地震と違い、風水害は気象情報などによってある程度発生を予測することができます。

台風

北西太平洋又は南シナ海に存在する「熱帯低気圧」のうち、最大風速がおおよそ17m/s(34ノット、風力8)以上のものを「台風」と呼びます。

特に勢力の強い台風が、九州の西海上を北上し、対馬海峡を通過したときや長崎県に上陸した後、北東に進んだ場合には、本県に大きな被害が発生しています。

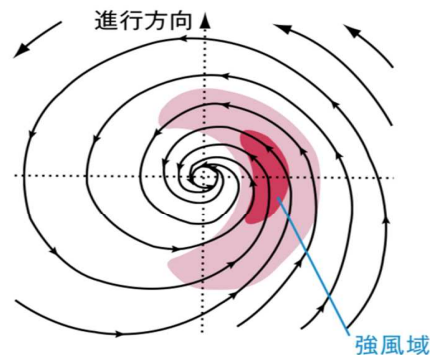
台風が、このようなコースをとれば、猛烈な風により瀬戸内海や豊後水道から海水が吹き寄せられ、高潮による災害も起こりやすくなります。

気象庁による台風の表現

- 強 さ**
- 強い 最大風速 33m/s以上～44m/s未満
 - 非常に強い 最大風速 44m/s以上～54m/s未満
 - 猛烈な 最大風速 54m/s以上

- 大きさ**
- 大型(大きい) 風速15m/s以上の
強風域の半径 500km以上～800km未満
 - 超大型(非常に大きい) 風速15m/s以上の
強風域の半径 800km以上

反時計回りに風が吹き込む台風の右(東)半分は風が強くなります。



集中豪雨

短時間のうちに狭い範囲に集中して降る大雨を「集中豪雨」と呼びます。非常に激しい雨が何時間も同じ場所に降り続けると大きな災害になります。

前線が停滞しているとき、台風が近づいているときや上陸したとき、大気の状態が不安定な状態が続き次々と積乱雲(雷雲)が発生するときに起きます。



雲が発生



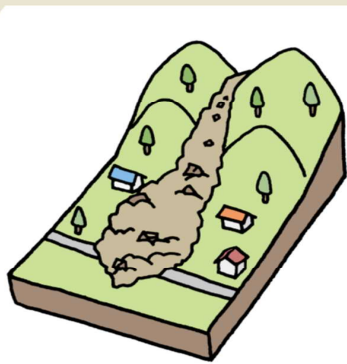
積乱雲へ成長



積乱雲がさらに発達し
局地的大雨が発生

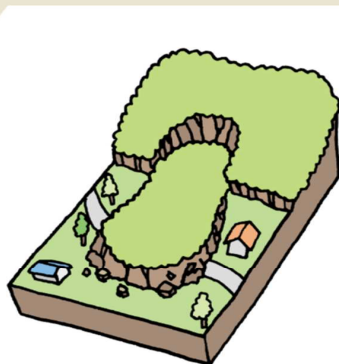
土砂災害

土砂による被害(いわゆる「土砂災害」)は、その発生のかたにより、「土石流」「地すべり」「がけ崩れ」の3つに大きく分けることができます。



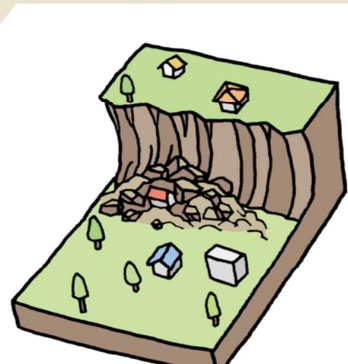
土石流とは

大量の土・石・砂などが、集中豪雨などの大量の水と混じり合って、津波のように流れ出てくるのが土石流です。流れの先端部に大きな岩があることが多いため破壊力も大きくスピードも速いので悲惨な被害を及ぼします。



地すべりとは

粘土などのすべりやすい層を境に、その地面がそっくりズル動き出すのが、地すべりです。地割れて田畑や家が壊されたり、押し出された土砂や地面の移動のために道路や建物が広い範囲で被害を受けます。



がけ崩れとは

雨で地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め斜面が突然崩れ落ちるのが、がけ崩れです。前ぶれもなく突然起こることが多く、スピードも速いため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人が多く、死者の割合も高くなります。また、地震が原因で起きることもあります。

土砂災害警戒区域

土砂災害警戒区域は、急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる土地の区域で、一定の基準により県が指定します。

防災やまぐち「やまぐち防災ガイドブック」引用

日頃から危険な場所を点検し、いざとなったら「早めの避難」を心がけましょう

町内及び近隣住民の皆さん、近くまでお越しの際は、一度来館してみてください。
平常時(9時~17時)であれば、当センターは自由に入館して、展示物を見て体験することができます。
なお、毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)、年末年始は休館日となっています。

山口県大島防災センター

Tel(0820)79-1133

Fax(0820)72-1166

E-mail : bousai@town.suo-oshima.lg.jp

